

みみよい

なお知らせ!

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

9月20日

聴覚障害者
サポートセンターまつり



講師: 山田先生

要約筆記

手話通訳士

『聴覚障害があってもボディーパーカッションで音楽を楽しもう♪』をテーマに久留米市西国分小学校で副校長、NPO 法人ボディーパーカッション協会理事長をされています山田俊之先生(写真: 右)を講師に招きご指導いただきました。山田先生はボディーパーカッションの創始者として、全国に留まらず世界へ向けて発信されています。

太鼓の演奏は山田先生
のサプライズ!!



当日は、難聴者・ろう者・健聴者で1歳から86歳の約90名の参加がありました。山田先生の合図でグループを作り、自己紹介で仲間づくりの始まりです。身振り・手ぶりで思いを伝え、口の形を読み取り、各々工夫を凝らしコミュニケーションを図ります。話したい、伝えたいと思うことができこえのバリアフリーへと繋がる第一歩であることを体験する機会となりました。



先生と子どもたちで
お手本を披露中♪

意見交換会 開催 9月19日に聴覚障害者を雇用している企業との意見交換会、10月7日に介護福祉士等との情報交換会を開催しました。いずれも熱心な発言や積極的な質問が出て、意義深い意見・情報交換会となりました。



**ポータブル
オーディオメーター導入**
巡回での聴こえの相談を随時
行っていきます。



みやき町とウェブ経由で手話通訳を開始

9月9日、開始式を行いました。中原庁舎にカメラを設置し来庁したろう者にセンター手話通訳士が通訳対応します。

手話通訳者現任者研修

第1回目は中西久美子氏(滋賀県ろう講師)を招き「手話通訳の専門性をたかめていくために」の講義、読み取り通訳技術研修に25名の参加でした。今後も地元で研修出来る機会をたくさん提供していきます。



各種講座が開講・修了しました

9月28日には手話通訳者養成通訳Ⅰ及び通訳Ⅱ課程が修了、10月5日に通訳Ⅰ課程の2クール目が開講しました。また10月8日には要約筆記者養成講座も修了しました。

学生ボランティアの日程決定

11月12日より後期の講座(全6回)が始まります。

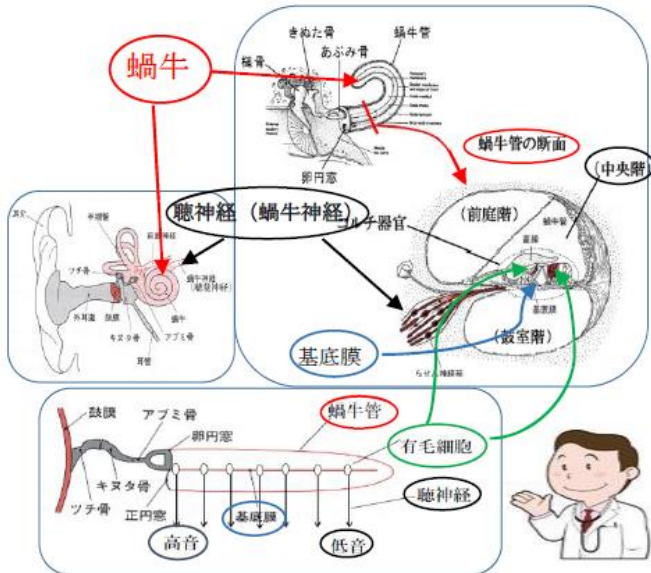
バルーンフェスタで文字情報

毎年秋に開催されている佐賀インターナショナルバルーンフェスタに、今年から文字による情報を提供することになりました。当センター運営委員の北村氏指導のもと、競技実施の有無、またイベントに関する情報など文字での情報が新しく出されます。従来の手話通訳に重ね、文字による情報でより楽しめる大会になります。

“この写真に注目”



シリーズ 聴こえのしくみ 5 今日は、「**蝸牛 (かぎゅう)**」のお話です。ちょっと難しいかも・・・。



蝸牛は、まさにカタツムリの殻のようですね。2回り半しているものを伸ばすと、約3.5cmになります。その断面は、3階建てで、仕切られた空洞はリンパ液でいっぱいです。また、中央階の入り口から一番奥まで、**基底膜**の上に、**有毛細胞**がずらりと並んでいます。中耳から伝わった音の振動により**基底膜**が波打ちこの**有毛細胞**を揺らすのです。その揺れで活動電位が生じ、音は、**物理的振動から神経を伝わる電気へと変換**され、**聴神経 (蝸牛神経)**へと、更に脳へと伝えられるのです。更に、驚くべきことに、この**有毛細胞**は、入り口の方から奥に向かって、高い音から順に、低い音に反応するものへと並んでいるのです。つまり、**蝸牛**は、音の高低の**最初の分析**もしているすぐれものなのです

※図の引用元：http://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/pdf/20140528/noushinkei_5.pdf

連載・聴覚障害者とICT (情報通信技術) No.1 今号より新しく連載を始めます「聴覚障害者とICT」、パソコンやタブレット、スマートフォンなどで便利なソフト・アプリの紹介などができればと思っています。記念すべき初回に紹介するのは「Aurasma (オーラズマ)」というアプリです。タブレットやスマホでダウンロードできます。アプリを立ち上げたら、まず虫眼鏡マークで佐賀県聴覚障害者サポートセンターを検索、<フォローする>をタッチして、フォローします。それから画面の口マークで読み込みモードに切り替え、このセンターだよりのバルーンの写真(「この写真に注目」の写真)に枠を合わせます。動画が出てきて、見ることができましたか?これから毎号このアプリで読み込める動画を準備したいと思います。「この写真に注目」となっている写真に合わせてみてくださいね。(右のアイコンがオーラズマのアプリです→)

嬉野高校3年生 センター視察



社会福祉系列3年生11名と先生2名が9月19日視察に来ました。概要説明のあと、測定室で聴こえのクイズ。先生の聴こえの良さにビックリ。またパソコン遠隔通訳体験では手話の上手な生徒に感心。最後に入口で記念撮影。後日、生徒の皆さんよりお礼の手紙をいただきました。

Book マルシェ+C³に参加 10月4日・5日

佐賀商工ビルの駐車場で平川氏の木彫りグッズや新里氏のポストカード、手話の本などを販売。サポートセンター内では聴覚障害者の作品展と手話・要約筆記クイズ、字幕映像の上映会を行いました。

→ 新里 猛 氏 作



↑久保 博盟 氏 作

御嶽山の噴火で犠牲に

9月27日の御嶽山の噴火では山梨県の聴覚障害者である猪岡哲也さん(安否不明)・洋海さん、今年もバルーンフェスタにエントリーされていた奈良県のバルーンのパイロット池田啓亮さんが犠牲になられた。ご冥福をお祈り申し上げます。



難聴者のピアカウンセリング 毎週水曜14時から17時まで、難聴者自身が相談を受けます。周りの方の話が聞き取りづらい等、きこえに関する相談をお待ちしています。個人情報厳守します。

ご案内 日曜教室 *11月9日(日) 午前10時~12時 ろう者対象「悪質商法の手口とその対処法」
*11月30日(日) 午前10時~12時 難聴者対象「障害者手帳対象と補聴器専門店会の製品紹介、相談会」
字幕映像上映会 *11月29日(土) 午前10時~12時 上映する映像は選考中です



《開館時間の変更》 10月より水曜日の延長開館時間が短くなります。21時 → 20時まで
編集後記：台風19号とにらめっこしながら作成。新しい連載もよろしくお祈りします。清田

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>
9:30 ~ 18:00
9:30 ~ 20:00(水曜)
<閉館日>
毎週木曜日、祝日